

平成 27 年度第 3 回公共調達審査会活動状況報告書

沖縄労働局

1 開催日

平成 27 年 12 月 25 日（金）

2 委員の氏名及び役職等

委員長 大嶋 直樹（労働基準部長）

委員 松嶋 歩（職業安定部長）

委員 松野 市子（雇用均等室長）

3 審査対象期間

平成 27 年 8 月 1 日から平成 27 年 11 月 30 日まで

4 審査契約件数

(1) 公共工事

① 競争入札によるもの

・ 審査対象件数 0 件

・ 審議件数 0 件

うち、低入札価格調査の対象となったもの 0 件

② 随意契約によるもの

・ 審査対象件数 0 件

・ 審議件数 0 件

(2) 物品・役務等

① 競争入札によるもの

・ 審査対象件数 5 件

・ 審議件数 5 件

うち、契約金額が 500 万円以上のもの 1 件

うち、参加者が一者しかいないもの 1 件

うち、委託契約金額に占める再委託金額の割合が 2 分の 1 を超えるもの 0 件

② 随意契約によるもの

・ 審査対象件数 0 件

・ 審議件数 0 件

5 審議案件の抽出方法

沖縄労働局公共調達審査会運営要綱第 7 条に基づき抽出した。

公共工事については、審議対象案件がなかった。

物品・役務等については、契約金額が 500 万円以上のものは 1 件（一般競争入札によるもの 1 件、随意契約によるもの 0 件）で全てを審議案件とした。また、5

00万円未満の案件は、4件（競争入札によるもの4件、随意契約によるもの0件）と少ないため、抽出はせずに全てを審議案件とした。

## 6 審議結果

不適切等と判断した件数 0 件

### 結果内容及び措置状況

物品・役務等の契約に係る競争参加資格等の設定及び予定価格の設定等について、審議案件は適正であると認められた。

なお、以下の点を留意点として確認が行われた。

○競争入札による公共工事について  
対象事案無し。

○競争入札による物品役務について

- ・ 通番1について（複合機購入及び保守業務契約）  
予定価格と契約価格がかけ離れているが理由は何か。  
⇒ 前回に市場調査を基に積算したが、予定価格と契約価格がかけ離れていたため、今回は市場価格調査を行わず。標準価格の20%で見積もったが、それでも価格差が大きかった。契約業者に確認をしたところ、平成27年10月末までキャンペーンを行っており。割引率が高かったとのこと。
- ・ 通番2について（複合機購入及び保守業務契約）離島のため別に入札。  
通番1と同じように契約価格は安くならなかったのか。  
⇒ 応札業者は、使用予定枚数が多いものほど、保守料を見込んで安くする傾向がある。通番2については1台のみであることと使用予定枚数が少ないことから、1よりは割引率は低くなった。業者は、仕入れ先のメーカーあて使用予定枚数を伝えて割引率を調整しているとのこと。
- ・ 通番3について（雇用保険のしおり）  
意見等無し
- ・ 通番4について（雇用保険事務手続・高齢者のしおり・安定行政年報）  
予定価格と契約金額との差は見られない。契約時期等の影響はあるのか。  
⇒ 年末以外は時期には特に左右されない。時期よりも紙の価格と納期の長さが金額に影響していると考えられる。  
納期までの期間はどれくらいか。  
⇒ 1か月～2か月程度かかる。
- ・ 通番5について（就職セミナー業務）  
上半期と下半期の業者が異なるが、上半期の実績等の考慮は無いのか。  
⇒ 上半期の実績等の考慮は無く、金額で決めている。

参加資格のランク付けは、どのように決められているのか  
⇒ 「厚生労働省における一般競争参加資格等の取扱いについて」で規定さ  
入札案件の種類と予定価格金額により 4 ランクに分けられている。

○随意契約による公共工事について  
意見等無し

○随意契約による物品役務について  
意見等無し